

浦上キリシタン流配 150年(2018~23)
ニュースレター

流配記念行事…5月の「乙女峠まつり」から

▼流配記念行事を広島教区創立百周年（2023年）に向け、今後5年間にわたり行ないます
「教会のチャレンジ」の一環として、心と力を合わせて取り組んでいきましょう。

最後の大規模なキリシタン弾圧「浦上四番崩れ」の開始(1867年)から昨年で150年になり、それを記念し、昨夏7月16日(日)長崎で記念祭が行なわれました。1868年7月20日(慶応4年6月1日/明治元年)から中心人物の移送が行なわれることとなり、まず初めに萩(66名)・津和野(28名)・福山(20名)に移送されました。これが広島教区内7箇所への5年間にわたるキリシタン流配の始まりです。

広島教区では、教区内への浦上キリシタン流配開始(1868年)から、長崎・浦上への帰還(1873年)まで五年にわたるキリシタンたちの苦難と信仰の証しを思い起こし祈るために、「浦上キリシタン流配150年(2018~23)」として、関係各地でさまざまな行事を行うこととしました。

▼広島教区内の流配地と殉教行事

- 5月…津和野(乙女峠まつり、津和野への旅)、鳥取(椿谷徒歩巡礼)
- 9月…福山(講演会+市内巡礼) 10月…岡山(鶴島巡礼)、11月…萩(巡礼ウォーク)
- 2月…岡山(市内徒歩巡礼) 其他教区内の流配地/松江、広島

※詳細日程は「殉・巡ネット年間行事予定表」を参照するか、各教会にお問合せ下さい。

▼記念行事イベント/「萩流配者の顕彰ミサと講演会」(2017年11月11日)開催

浦上キリシタン流配第一陣として、萩に66名が流されたことを記念し萩教会で殉教祭が開催されました。昼過ぎ、市内西部の殉教者記念公園で、祈りの集いを行った後、約4キロの道を祈りながら萩教会まで徒歩巡礼。教会では白浜司教司式で記念ミサがささげられ、ミサ後イエズス会川村信三神父の講演会「東洋の奇跡」で、信徒発見まで250年間信仰を守った潜伏キリシタンについて学びました。「四番崩れ解説パネル」も聖堂内に展示、流配について理解を深めました。



川村神父講演会

▼「四番崩れ解説パネル」教会展示にご参加を!

津和野、山口、萩で実施済み。2月には岡山、玉野で展示。今後も教区内教会への巡回を願っています。希望は肥塚神父まで。

▼「浦上キリシタン流配/朗読劇」制作中!

朗読で学ぶ浦上キリシタンの流配のお話です。各地での上演を目指しています。

「浦上キリシタン流配 150年」を皆様に知って頂くために、随時発行を予定。